

政策シート

(政策名) 地域医療・地域包括ケアの推進

(予算費目名) 健康医療総務費

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

- 10年後の目標
- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
 - ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

◇政策の概要

- ・市民の健康を守ることを目的として、緊急時の生命の確保、急病の早期治療など迅速かつ適切な医療サービスを受けられるよう救急医療体制の充実を図っていく。
- ・大規模災害時における迅速な医療救護活動が行えるよう医療救護体制を整備する。そのため関係機関との協議・調査・研究を進めていく。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	680,934	682,663
決算	659,894	
人件費(A)	191,000	191,000
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	850,894	873,663

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
24時間365日休むことなく実施する救急医療体制の構築(%)	%	100	目標	100	100
			実績	100	
応急救護所の屋内設置数(箇所)	箇所	61	目標	0	61
			実績	0	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

- ・市民の健康を守ることを目的として、緊急時の生命の確保、急病の早期治療など迅速かつ適切な医療サービスを受けられるよう救急医療体制の充実を図っていく。
- ・大規模災害時における迅速な医療救護活動が行えるよう医療救護体制を整備する。そのため関係機関との協議・調査・研究を進めていく。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・応急救護所の屋内設置数(箇所)は、61箇所をH28目標としているところである。関係者間との事前調整が進んでおり、内諾は得られた状況にある。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	健康医療推進事業					21,371	6,851	2.0		0.2		
2	診療所管理運営事業					72,059	69,959	0.3				
3	救急医療事業			○		562,123	413,983	18.1	1.0	0.4	6.0	
4	へき地医療対策事業					19,763	18,363	0.2				
5	災害時医療救護対策推進事業			○		8,425	725	1.1				
6	看護師等養成事業費助成事業(補助金)					9,200	8,500	0.1				
7	総合病院移転支援事業					154,202	153,502	0.1				
8	予防接種健康被害救済事業					7,540	6,580	0.1		0.1		
9	自殺対策推進事業					5,490	2,690	0.4				
10	健康医療運営経費(一般諸経費のみ)					13,490	1,510	1.6		0.3		
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						873,663	682,663	24.0	1.0	1.0	6.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 健康医療推進事業

◇事業目的・事業対象

がん対策を推進することで、がんになっても安心して暮らせる地域社会を目指す。また静岡県アイバンクへの負担金の支出ほか医療奨励賞の選考を通じて、地域の医療水準向上への取り組みを促すことや保健医療審議会の場を通じて、医療関係機関や市民の声を、保健医療行政へ反映させる。

◇事業の概要

- ①保健医療審議会等開催事業 本市の保健医療体制を充実するため保健医療審議会を開催し、保健医療衛生に関する調査審議を行う。また、医療奨励賞選考事業を実施し、市内の医療従事者を対象に、診断・治療方法の開発・改善への取り組みを論文形式で募集し、有識者で構成する審査会にて選考し表彰する。
- ②がん対策推進事業 がん対策推進計画に基づきガイドブックを作成するなど、がん対策を推進する。
- ③外国人検診助成事業 浜松外国人医療援助会が実施する無料検診会等に要する経費の一部を補助する。
- ④保健医療講演会等事業 保健医療に係る市民向けの講演会等の実施を医師会等へ委託する。
- ⑤くすりの相談室事業 医薬品の正しい使い方や誤飲・誤食の相談などに応じるくすりの相談室事業の一部を一般社団法人浜松市薬剤師会に委託する。
- ⑥静岡県アイバンク運営支援事業 眼球提供者の募集及び登録等の事業を実施する公益財団法人静岡県アイバンクの運営に要する経費の一部を助成する。
- ⑦中学生のための救急蘇生講座支援事業 中学生のための救急蘇生講座事業に係る経費の一部を一般社団法人浜松市医師会へ支出する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和55年度	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市保健医療審議会条例ほか	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	7,277	6,851
	決算	5,881	
	国・県支出		
	市債		
	その他	587	850
	一般財源	5,294	6,001
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		14,520	14,520
人工	正規	2.0	2.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)	0.2	0.2
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
保健医療審議会の開催数(回)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	3	3			3
実績値	2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ①保健医療審議会等開催事業 本市の保健医療体制を充実するため保健医療審議会を開催し、保健医療衛生に関する調査審議を行う。また、医療奨励賞選考事業を実施し、市内の医療従事者を対象に、診断・治療方法の開発・改善への取り組みを論文形式で募集し、有識者で構成する審査会にて選考し表彰する。
- ②がん対策推進事業 がん対策推進計画に基づきガイドブックを作成するなど、がん対策を推進する。
- ③外国人検診助成事業 浜松外国人医療援助会が実施する無料検診会等に要する経費の一部を補助する。
- ④保健医療講演会等事業 保健医療に係る市民向けの講演会等の実施を医師会等へ委託する。
- ⑤くすりの相談室事業 医薬品の正しい使い方や誤飲・誤食の相談などに応じるくすりの相談室事業の一部を一般社団法人浜松市薬剤師会に委託する。
- ⑥静岡県アイバンク運営支援事業 眼球提供者の募集及び登録等の事業を実施する公益財団法人静岡県アイバンクの運営に要する経費の一部を助成する。
- ⑦中学生のための救急蘇生講座支援事業 中学生のための救急蘇生講座事業に係る経費の一部を一般社団法人浜松市医師会へ支出する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ①保健医療審議会等開催事業 在宅医療・介護連携センター事業について報告し、事業に対する意見、要望を伺うことができた。また、医療奨励賞の選考事業では、論文を募集し表彰することで、地域の医療水準向上への取り組みを促した。
- ②がん対策推進事業 がん対策推進計画に基づきガイドブックを作成するなど、がん対策を推進した。
- ③外国人検診助成事業 浜松外国人医療援助会が実施する無料検診会等に要する経費の一部を補助した。
- ④保健医療講演会等事業 保健医療に係る講演会等の開催を通じ、市民の保健医療に係る知識の普及が進んだ。
- ⑤くすりの相談室事業 くすりの相談を通じ、市民の安心・安全な服薬に寄与した。
- ⑥静岡県アイバンク運営支援事業 負担金の支出を通じて、献眼の推進に寄与した。
- ⑦中学生のための救急蘇生講座支援事業 中学生への講習を通じ、救急蘇生法の普及に寄与した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

健康医療推進事業は、本市の保健医療施策の基盤となる事業であり、今後も、現状の水準を維持する中で、環境変化に合わせ新たに取り組むべきもの、縮減可能な取り組みを精査していく。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

上記事業を実施することで、地域の医療水準向上への取り組みを促すことや保健医療審議会の場を通じて、医療関係機関や市民の声を聴き、保健医療行政へ反映させることを継続していく。

・事業の分類

大分類 事業推進 細分類 普及・啓発

事業シート (事業名) 診療所管理運営事業

◇事業目的・事業対象

市民が常に身近な地域で適切な医療が受けられる診療体制の整備を図り安定的に医療を提供する。

◇事業の概要

市内のへき地においても適切な医療が受けられる体制として、中山間地において4つの市立診療所(引佐鎮玉診療所、引佐洪川出張診療所、引佐伊平診療所、春野歯科診療所)を運営し、市民に安定的医療の提供を行う。また、龍山診療所、龍山歯科診療所等の民営診療所を支援する。

【公営】

- ①引佐鎮玉診療所管理運営事業 引佐町鎮玉地区住民が適切な医療を受けられるよう診療所を運営する。
- ②引佐洪川診療所管理運営事業 引佐町洪川地区住民が適切な医療を受けられるよう診療所を運営する。
- ③引佐伊平診療所管理運営事業 引佐町伊平地区住民が適切な医療を受けられるよう診療所を運営する。
- ④春野歯科診療所管理運営事業 春野地区住民が適切な歯科医療を受けられるよう歯科診療所を運営する。

【公設・民営】

- ⑤龍山診療所・龍山歯科診療所等運営支援事業 天竜地区住民が適切な医療を受けられるよう、民営診療所の運営を支援する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成17年度	—	一般会計	自治事務(その他)	医療法、浜松市引佐診療所条例 ほか	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	74,269	69,959
	決算	65,636	
	国・県支出		
	市債		
	その他	60,483	67,392
	一般財源	5,153	2,567
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		2,100	2,100
人工	正規	0.3	0.3
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
公設の4診療所の合計患者数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	8,000	7,000			8,000
実績値	6,776				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

市内のへき地においても適切な医療が受けられる体制として中山間地において4つの市立診療所(引佐鎮玉診療所、引佐洪川出張診療所、引佐伊平診療所、春野歯科診療所)を運営し、市民に安定的医療の提供を行う。また、龍山診療所、龍山歯科診療所等の民営診療所を支援する。

【公営】

- ①引佐鎮玉診療所管理運営事業 引佐町鎮玉地区住民が適切な医療を受けられるよう診療所を運営する。
 ②引佐洪川診療所管理運営事業 引佐町洪川地区住民が適切な医療を受けられるよう診療所を運営する。
 ③引佐伊平診療所管理運営事業 引佐町伊平地区住民が適切な医療を受けられるよう診療所を運営する。
 ④春野歯科診療所管理運営事業 春野地区住民が適切な歯科医療を受けられるよう歯科診療所を運営する。

【公設・民営】

- ⑤龍山診療所・龍山歯科診療所等運営支援事業 天竜地区住民が適切な医療を受けられるよう、民営診療所の運営を支援する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

【公営】

- ①引佐鎮玉診療所管理運営事業 H27 2,457人の患者が受診
 ②引佐洪川診療所管理運営事業 H27 854人の患者が受診
 ③引佐伊平診療所管理運営事業 H27 1,338人の患者が受診
 ④春野歯科診療所管理運営事業 H27 2,127人の患者が受診

【民営】

- ⑤龍山診療所・龍山歯科診療所等運営支援事業

天竜地区住民が適切な医療を受けられるよう、龍山歯科診療所の公設民営診療所の運営を支援した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

過疎化及び高齢化が進む当該地域においても、市民が身近な地域で適切な医療を受けられる体制を維持継続することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

中山間地域住民の医療確保のため、現状維持に努める。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 救急医療事業

◇事業目的・事業対象

緊急時の生命の確保、急病の早期治療など適切な医療サービスを提供する救急医療体制の充実を図り、市民の健康を守ることを目的とする。

◇事業の概要

夜間、土曜日の午後及び休日における救急医療体制を安定的に運営することにより、地域住民が安心できる救急医療を提供する。

市内の救急医療体制は、夜間救急室等軽症患者を受け入れる初期救急医療、手術や入院を必要とする患者を受け入れる2次救急医療、緊急かつ極めて重篤な患者を受け入れる3次救急医療に区分されている。

- ①夜間救急医療事業: 夜間における初期救急医療及び2次救急医療体制を安定的に運営する。
- ②休日救急医療事業: 休日における初期救急医療及び2次救急医療体制を安定的に運営する。
- ③土曜救急医療事業: 土曜日における初期救急医療及び2次救急医療体制を安定的に運営する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和49年度	—	一般会計	自治事務(その他)	医療法、浜松市夜間救急室条例ほか	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	408,061	413,983
	決算	399,756	
	国・県支出	15,187	10,640
	市債		
	その他	209,803	216,881
	一般財源	174,766	186,462
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		148,140	148,140
人工	正規	18.1	18.1
	再任用(h31)	1.0	1.0
	再任用(h26)	0.4	0.4
	非常勤	6.0	6.0

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
休日、夜間などの救急医療体制に満足している市民の割合(%)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	46	46			50
実績値	36				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

夜間、土曜日の午後及び休日における救急医療体制を安定的に運営することにより、地域住民が安心できる救急医療を提供する。

市内の救急医療体制は夜間救急室等軽症患者を受け入れる初期救急医療、手術や入院を必要とする患者を受け入れる2次救急医療、緊急かつ極めて重篤な患者を受け入れる3次救急医療に区分されている。

- ①夜間救急医療事業：夜間における初期救急医療及び2次救急医療体制を安定的に運営する。
- ②休日救急医療事業：休日における初期救急医療及び2次救急医療体制を安定的に運営する。
- ③土曜救急医療事業：土曜日における初期救急医療及び2次救急医療体制を安定的に運営する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ①夜間救急医療事業・・・市民に安全・安心な夜間救急医療を提供した。
初期救急医療 夜間救急室 18,714人、2次救急医療 病院群輪番
- ②休日救急医療事業・・・市民に安全・安心な休日救急医療を提供した。
初期救急医療 天竜休日救急診療所 1,200人、2次救急医療 病院群輪番
- ③土曜救急医療事業・・・市民に安全・安心な土曜救急医療を提供した。
初期救急医療 夜間救急室 996人、2次救急医療 病院群輪番

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

救急医療体制については、各医師会や医療機関との連携が必要であり、地域性も考慮する必要がある。現時点で本市の救急医療体制は概ね良好に機能しているため現状を維持する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

市民の皆様に安全安心な医療を提供することで、休日、夜間などの救急医療体制に満足している市民の割合(市民アンケート調査)が増加するよう、更なる啓発、周知を図っていく。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) へき地医療対策事業

◇事業目的・事業対象

へき地及びへき地に準ずる地区の住民の医療確保を図る。

◇事業の概要

- ①へき地患者輸送事業 公共交通がなく、へき地に準ずる水窪の塩沢地区から医療機関へバス運行を行い、医療機関への交通手段を確保する。(水窪協働センター)
 ・運行回数 月2日(4回)のデマンド運行 ・利用料金 1乗車200円(障害者手帳、療育手帳提示者は50%の減免)
- ②天竜区看護師等修学資金貸与事業 天竜区内の病院及び診療所における保健師、看護師及び准看護師の充足を図るため、市長が指定する医療提供施設で一定期間就労することを条件に、看護学生等に修学資金を貸与する。
 貸与の対象地区と貸与額
 ・天竜、龍山、春野地区と天竜病院 月額6万円の貸与 ・佐久間、水窪地区 月額8万円の貸与

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成17年度	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市看護師等修学資金貸与条例	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	17,163	18,363
	決算	16,762	
	国・県支出	160	181
	市債		
	その他	2,100	6,100
	一般財源	14,502	12,082
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
へき地患者輸送車(水窪塩沢線)の年間運行回数(回)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	48	48			48
実績値	46				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
看護師等修学資金の新規貸与者人数(人)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	8	10			10
実績値	10				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ①へき地患者輸送事業 公共交通がなく、へき地に準ずる水窪の塩沢地区から医療機関へバス運行を行い、医療機関への交通手段を確保する。(水窪協働センター)
・運行回数 月2日(4回)のデマンド運行 ・利用料金 1乗車200円(障害者手帳、療育手帳提示者は50%の減免)
- ②天竜区看護師等修学資金貸与事業 天竜区内の病院及び診療所における保健師、看護師及び准看護師の充足を図るため、市長が指定する医療提供施設で一定期間就労することを条件に、看護学生等に修学資金を貸与する。
貸与の対象地区と貸与額
・天竜、龍山、春野地区と天竜病院 月額6万円の貸与 ・佐久間、水窪地区 月額8万円の貸与

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

①へき地患者輸送事業

運行回数 24日、46回 運行患者数 90人

水窪町の塩沢線については、公共交通の運行基準を満たさないため引き続き患者輸送車の運行を行い、へき地から医療機関への交通手段を確保した。高齢化が進む当該地域に必要な医療確保手段となった。

②天竜区看護師等修学資金貸与事業 20人に対して、修学資金を貸与した。

内訳:天竜・春野・龍山地区 平成27年度新規貸与者(月額6万円) 5人、継続 5人

佐久間・水窪地区 平成27年度新規貸与者(月額8万円) 5人、継続 5人

※修学資金の貸与を受け、天竜区内に従事した看護師数18人(平成20年度の事業開始からH27. 4.1までの就職者累計)

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

へき地医療対策事業は、医療資源が不足している中山間地域の住民の生命と健康を守るため欠かせない事業であり、今後も現状の水準を維持する中で、適切かつ有効に事業を推進する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

中山間地域住民の医療確保のため、現状維持に努める。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 災害時医療救護対策推進事業

◇事業目的・事業対象

大規模災害が発生した時に、最善の医療救護体制で臨むことができるようにする。また、医療関係団体及び自主防災隊の医療救護活動にかかる知識と技術の習得を目指す。

◇事業の概要

- 医療救護対策委員会の開催
医療関係団体の代表等で組織する医療救護対策委員会を開催し、災害時の医療救護が円滑に行われるよう情報交換を行い、体制の整備を図るとともに、医療救護計画等についての調査研究を行う。
- 医療救護計画の改訂
地震被害想定に基づく傷病者等を救護する体制を確立することを目的とした、医療救護計画の見直しを行う。
- 医療救護訓練の実施
医師会との共催で医療救護訓練を実施する。
- 医療救護本部室の運用訓練
災害時には、本庁51会議室を医療救護本部室として設置するため、災害時優先電話などの通信確認を県・防災訓練を通して行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成8年度	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市医療救護対策委員会要綱	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	484	725
	決算	385	
	国・県支出		69
	市債		
	その他		
	一般財源	385	656
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		7,700	7,700
人工	正規	1.1	1.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
医療救護計画の改訂(回)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	1	1			1
実績値	1				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
医療救護訓練への参加人数(人)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	400	400			400
実績値	421				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○医療救護対策委員会の開催

医療関係団体の代表等で組織する医療救護対策委員会を開催し、災害時の医療救護が円滑に行われるよう情報交換を行い、体制の整備を図るとともに、医療救護計画等についての調査研究を行う。

○医療救護計画の改訂

地震被害想定に基づく傷病者等を救護する体制を確立することを目的とした、医療救護計画の見直しを行う。

○医療救護訓練の実施

医師会との共催で医療救護訓練を実施する。

○医療救護本部室の運用訓練

災害時には、本庁51会議室を医療救護本部室として設置するため、災害時優先電話などの通信確認を県・防災訓練を通して行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

○医療救護対策委員会を3回開催し、医療関係者等と情報交換を行った。

○医療救護計画を改訂し、応急救護所への医療関係者の事前配置計画を最新のものに改めた。

○応急救護所の設置場所を原則、「屋外」から「屋内」に変更するよう、関係機関と調整を図り、平成28年度から「屋内」に変更できるようにした。

○応急救護所に配備されている医療資器材の一部を「屋外」から「屋内」に変更するよう、関係機関と調整を図り、平成28年度から屋内保管できるようにした。

○応急救護所の設置場所について、地域の要望等があった場所については、関係機関と調整を図り、新しい設置場所に変更できた。

○応急救護所に参集する看護師ボランティアの確保に向けて、資格保持者の市民に対し、募集を開始した。

○災害時における透析患者に対する対応等に向けて、透析機関との調整を図った。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業費は特に変わらないが、応急救護所の屋内への設置場所変更等、災害時医療の体制整備を進めることが出来た。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成28年度から災害時医療における予算の一部を危機管理課から移譲されたため、事業費は拡大となる。

応急救護所の屋内設置に向けた整備(医療資器材の一部を屋内保管にする等)を行う。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 看護師等養成事業費助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

看護師及び歯科衛生士の人材育成に係る支援を行い、市内の看護師等の充足を図る。

◇事業の概要

○看護師養成事業費補助金 6,000千円

市内の私立看護師養成所で行う看護学生養成事業に係る経費のうち教職員等の人件費の一部と、市内の医師会立看護師等養成所が行う臨床実習強化対策事業(病院等における現場体験実習)に係る経費の一部を補助する。

・私立看護師養成所看護学生養成事業 3,000千円

交付先：浜松市医師会看護高等専修学校、静岡県厚生連看護専門学校

・看護師等養成所臨床実習強化対策事業 3,000千円

交付先：浜松市医師会看護高等専修学校

○歯科衛生士養成事業費補助金 2,500千円

市内の歯科衛生士養成所で行う、歯科衛生士養成事業に係る経費のうち教職員等の人件費の一部を補助する。

交付先：浜松歯科衛生士専門学校

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和55年度	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市看護師養成事業費補助金交付要綱ほか	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	8,500	8,500
	決算	8,470	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	8,470	8,500
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	700
人工	正規	0.1	0.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
看護師養成所の卒業者数(人)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	90	90			90
実績値	87				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
歯科衛生士養成所の卒業者数(人)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	44	44			44
実績値	43				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 02 03 01 01051000

(担当課)
健康医療課

(責任者)
小石川邦夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○看護師養成事業費補助金 6,000千円

市内の私立看護師養成所で行う看護学生養成事業に係る経費のうち教職員等の人件費の一部と、市内の医師会立看護師等養成所が行う臨床実習強化対策事業(病院等における現場体験実習)に係る経費の一部を補助する。

・私立看護師養成所看護学生養成事業 3,000千円

交付先 : 浜松市医師会看護高等専修学校、静岡県厚生連看護専門学校

・看護師等養成所臨床実習強化対策事業 3,000千円

交付先 : 浜松市医師会看護高等専修学校

○歯科衛生士養成事業費補助金 2,500千円

市内の歯科衛生士養成所で行う、歯科衛生士養成事業に係る経費のうち教職員等の人件費の一部を補助する。

交付先 : 浜松歯科衛生士専門学校

・事業の成果と課題

指標の達成度

浜松市医師会看護高等専修学校で49人、静岡県厚生連看護専門学校で38人が卒業した。
浜松歯科衛生士専門学校で43人が卒業した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

看護師の安定的な供給が地域医療の充実のために欠かせないものであるため、補助金を継続するが、市内への就職率を継続的に確認する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

市内への就職率を毎年確認する。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 総合病院移転支援事業

◇事業目的・事業対象

平成17年6月7日に浜北市と浜松赤十字病院が締結した覚書等に基づき、浜松赤十字病院の移転を支援し、「新市建設計画」に掲げる市民が安心して暮らせる医療サービスの提供を図る。

◇事業の概要

- ・浜松赤十字病院に建設に係る元利償還金に対する補助として助成する。
- ・助成するにあたり浜松赤十字病院の11月1日現在の診療体制を確認する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成17年度	平成38年度	一般会計	自治事務(その他)	浜松赤十字病院施設整備償還費補助金交付要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	154,349	153,502
	決算	152,689	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	152,689	153,502
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		700	700
人工	正規	0.1	0.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
当初計画に対して、対応できている診療科数(各年11月1日現在)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	34	35			35
実績値	35				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
当初計画に対して、対応できている医師数(各年11月1日現在)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	48	48			48
実績値	50				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 02 03 01 01051000

(担当課)
健康医療課

(責任者)
小石川邦夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・浜松赤十字病院に建設に係る元利償還金に対する補助として助成する。
- ・助成するにあたり浜松赤十字病院の11月1日現在の診療体制を確認する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

平成19年11月の病院の移転により、平成19年度から浜松市内の2次救急輪番病院(浜北区内唯一)及び地域医療支援病院(平成21年9月指定)、災害拠点病院(平成25年7月指定)としての役割を果たした。

・平成27年11月1日現在、50人の常勤医師が在籍し、外来20.5科、入院14.5科の診療科で診療を行っており、浜北区及び天竜区の住民を中心に医療サービスを提供した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成38年度をもって終了する予定である。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

産科を欠くものの、診療科目は35科に拡大、医師数も50人となり全体数で当初計画を達成している。

産科以外の新たな地域ニーズの変化に対しては診療機能の確保・充実が図られている。

地域医療支援病院、災害拠点病院、在宅医療の後方支援および高齢者医療の充実、浜北区・天竜区からの救急患者受け入れ状況等、当初計画にない新規地域ニーズへ十分な対応をしている要因等を考慮して執行する。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 予防接種健康被害救済事業

◇事業目的・事業対象

予防接種法に基づき予防接種を実施した際、健康被害を受けた被害者を救済することを目的とする。

◇事業の概要

○予防接種健康被害調査委員会の開催

予防接種法に基づく下記の予防接種を受けた方に健康被害(異常な副反応により後遺症が残った場合等)が生じた場合、市は予防接種健康被害調査委員会を開催し、疾病の状況及び診療内容に関する資料収集等を行う。本委員会が調査した資料は国へ送られ、健康被害認定のための資料となる。

・子どもの予防接種

ヒブ、小児用肺炎球菌、4種混合、BCG、麻しん・風しん混合、日本脳炎、ジフテリア・破傷風混合、子宮頸がん予防、水痘(水痘は平成26年10月から)

インフルエンザ、成人用肺炎球菌(成人用肺炎球菌は平成26年10月から)

○予防接種法に基づく給付(予防接種健康被害救済事業費補助金)

健康被害が予防接種を受けたことによるものであると国が認定した方に対し、予防接種法で定められた額の医療費(実費)、医療手当、障害年金等を支給する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和52年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)	予防接種法、浜松市予防接種健康被害調査委員会条例	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	6,582	6,580
	決算	6,495	
	国・県支出	3,702	3,756
	市債		
	その他		
	一般財源	2,793	2,824
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		960	960
人工	正規	0.1	0.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)	0.1	0.1
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○予防接種健康被害調査委員会の開催
 予防接種法に基づく下記の予防接種を受けた方に健康被害(異常な副反応により後遺症が残った場合等)が生じた場合、市は予防接種健康被害調査委員会を開催し、疾病の状況及び診療内容に関する資料収集等を行う。本委員会が調査した資料は国へ送られ、健康被害認定のための資料となる。

・子どもの予防接種
 ヒブ、小児用肺炎球菌、4種混合、BCG、麻しん・風しん混合、日本脳炎、ジフテリア・破傷風混合、子宮頸がん予防、水痘(水痘は平成26年10月から)
 インフルエンザ、成人用肺炎球菌(成人用肺炎球菌は平成26年10月から)

○予防接種法に基づく給付(予防接種健康被害救済事業費補助金)
 健康被害が予防接種を受けたことによるものであると国が認定した方に対し、予防接種法で定められた額の医療費(実費)、医療手当、障害年金等を支給する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

予防接種健康被害調査委員会の開催
 平成27年8月に予防接種健康被害救済措置申請書の提出があり、予防接種健康被害調査委員会(平成28年度に実施)の開催に向けて、委員の委嘱や資料の収集などの準備を進めた。

予防接種法に基づく給付(予防接種健康被害救済事業費補助金)
 予防接種法で定められた額の医療費(実費)、医療手当、障害年金を支給した。これにより、健康被害者の健康維持と福祉の向上に寄与し、社会的公正が図られた。

・事業の改善と見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

法律の定めにより国から市が受託している事務であり、救済の対象者、支給額、支払時期等についても予防接種法等の法令により定められているため、これにより進めていく。また、予防接種の性質上、関係者がいかに注意を払っても、極めてまれに健康被害が起こりうる特殊性を有しているため、現状通り制度を継続する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 自殺対策推進事業

◇事業目的・事業対象

自殺は個人的な問題として捉えるものではなく、その背景に様々な社会的要因があることを踏まえ、総合的な対策を必要とする。様々な分野の関係機関・団体と連携、協力を確保しつつ、地域の特性に応じた実効性の高い施策を推進し、自殺の防止、自死遺族等への支援の充実等総合的な自殺対策の推進を図る。

◇事業の概要

○第二次自殺対策推進計画の施行

自殺対策基本法第3条(H28.4.1法の一部改正に伴う条項繰上げによる)に基づき、平成26年度から30年度までを計画期間とした第二次計画の施策を実行する。

○自殺対策連携会議の開催

自殺対策連携会議を開催して、様々な分野の関係機関・団体と連携・協力し、総合的な自殺対策の推進を図る。

○いのちをつなぐ手紙事業(普及啓発)の実施

本市独自に事業である「いのちをつなぐ手紙」を作成し、広く市民にいのちの大切さや自殺予防についての啓発を実施する。

○自殺対策における多職種連携支援業務の実施

法律家が抱える自殺のハイリスク者に対して精神保健福祉士などが連携してケースワークを実施する。また、本事業で構築された連携の仕組みを市内の関係者へ広げ普及を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成20年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)	自殺対策基本法、第二次浜松市自殺対策推進計画ほか	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	2,715	2,690
	決算	2,470	
	国・県支出	1,000	1,000
	市債		
	その他		
	一般財源	1,470	1,690
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		2,800	2,800
人工	正規	0.4	0.4
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
人口動態統計による前年の自殺率(%)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	16.8	14.2			14.2
実績値	15.1				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○第二次自殺対策推進計画の施行

自殺対策基本法第4条に基づき、平成26年度から30年度までを計画期間とした第二次計画の施策を実行する。

○自殺対策連携会議の開催

自殺対策連携会議を開催して、様々な分野の関係機関・団体と連携・協力し、総合的な自殺対策の推進を図る。

○いのちをつなぐ手紙事業(普及啓発)の実施

本市独自に事業である「いのちをつなぐ手紙」を作成し、広く市民にいのちの大切さや自殺予防についての啓発を実施する。

○自殺対策における多職種連携支援業務の実施

法律家が抱える自殺のハイリスク者に対して精神保健福祉士などが連携してケースワークを実施する。また、本事業で構築された連携の仕組みを市内の関係者へ普及を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

○第二次自殺対策推進計画に登載されている対策事業を関係各課で推進した。

○自殺対策連携会議を2回開催し、関係機関及び団体と本市の自殺対策について意見交換を行った。

○相談機関一覧表を年度当初に4,000部、関係機関に配架し、周知に努めた。また、「くらしのガイド」にも同様の一覧表を掲載した。

○自殺対策における多職種連携による研修会(事例検討会)を1回開催し、関係者間の連携を深めた。また、その連携の取り組み等による自殺ハイリスク者等の支援を新規に3件行った。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

○現時点で把握している本市の自殺者数(平成27年・警察庁の統計資料)では、122名で、前年の148名を大幅に下回っている。自殺死亡率も減少している。関係課及び関係機関で実施している対策・相談事業の効果が結びついたと考えている。

○さらに自殺者が減少していくよう、対策・相談事業を継続していく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

○自殺対策は単年でなく、長期的な視点で捉えて行うことが重要である。関係課で実施している対策・相談事業を継続して行う。

○自殺対策の多職種連携については、連携先の拡充に向けて検討、調整していく。

・事業の分類

大分類

細分類

政策シート

(政策名) 地域医療・地域包括ケアの推進

(予算費目名) 介護保険事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

- 10年後の目標
- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
 - ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

◇政策の概要

在宅医療・介護連携相談センターを設置し在宅医療の推進を図るとともに、医療と福祉に関する総合的な支援を実施する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	15,361	
決算	14,569	
人件費(A)	23,800	
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	38,369	

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
多職種連携研修会等の開催(回)	回	10	目標	2	7
			実績	3	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

在宅医療・介護連携相談センターを設置し在宅医療の推進を図るとともに、医療と福祉に関する総合的な支援を実施する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

在宅医療・介護連携相談センターを設置し在宅医療の推進を図るとともに、医療と福祉に関する総合的な支援を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	介護保険事業		○	○	○							
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計												

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 介護保険事業 【完了】

◇事業目的・事業対象

市民が、医療や介護が必要となっても、住みなれた地域で最期まで自分らしい生活を送ることができるよう在宅医療・介護連携相談センターを設置し在宅医療の推進を図るとともに、医療と福祉に関する総合的な支援を実施する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.42】
 (1)在宅医療・介護連携相談センター事業
 ・在宅医療・介護連携相談センター
 ・関係機関からの相談対応
 (2)在宅医療・介護連携事業の推進
 ・医師会連携(在宅医療体制の構築、介護関係者等との連携の推進、地域住民に対する普及啓発等を実施)
 ・歯科医師会連携(口腔ケアの普及のため、市民及び医療・介護関係者に対し講演会等の実施)
 ・薬剤師会連携(訪問薬剤指導ができる薬剤師の育成を目指した専門知識に基づく研修会の実施)

※H28年度から政策体系を「超高齢社会への対応」の事業に変更

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	—	特別会計	自治事務(その他)	医療介護総合確保推進法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	15,361	
	決算	14,569	
	国・県支出	8,523	
	市債		
	その他	3,205	
	一般財源 一般会計繰入金	2,841	
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		23,800	
人工	正規	3.4	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
在宅医療・介護連携に関する研修会等の参加者数					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	100				500
実績値	165				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
在宅医療認定薬局の指定数					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	50				200
実績値	115				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
在宅医療・介護連携相談センターの設置					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	設置	継続	継続		継続
実績値	設置				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 02 03 02 01035000

(担当課)
高齢者福祉課

(責任者)
小松 靖弘

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.42】

- (1)在宅医療・介護連携推進事業
 - ・在宅医療・介護連携相談センター開設(H28.1予定)
 - ・多職種連携の仕組みづくり、医療・介護関係者等の研修
 - ・市民への普及啓発
 - ・在宅医療相談と困難事例に対する調整(委託)
 - ・急変時の対応をするため関係機関と協議・調整
- (2)天竜区における在宅医療・介護連携推進モデル事業
- (3)在宅医療・介護対応薬局の認定事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

- (1)在宅医療・介護連携推進事業
 - ・在宅医療・介護連携相談センター開設(H28.1)
 - ・多職種連携の仕組みづくり、医療・介護関係者等の研修
 - ・市民への普及啓発
 - ・在宅医療相談と困難事例に対する調整(委託)
 - ・急変時の対応をするため関係機関と協議・調整
- (2)天竜区における在宅医療・介護連携推進モデル事業
- (3)在宅医療・介護対応薬局の認定事業

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成27年度新規事業として、核となる「在宅医療・介護連携相談センター」を浜松市医療公社に委託し、浜松医療センター内に開設した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・今後も高齢者相談センター(地域包括支援センター)、介護事業所、医療機関などからの相談に対応する「在宅医療・介護連携相談センター」を委託し、運営する。
・医師会、歯科医師会、薬剤師会連携を拡大し、在宅医療体制の構築、介護関係者等との連携の推進、地域住民に対する普及啓発等を実施する。

・事業の分類

大分類

細分類

平成28年度

(管理番号)

05 02 03 02 01035000 01

(担当課)

高齢者福祉課

(責任者)

小松 靖弘

(作成日)

平成 28 年 7 月 1 日

補助シート

(事業名) 介護保険事業

【完了】

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
42	【開始期】 天竜区在宅医療・介護 連携推進事業 4月～ (仮)在宅医療・介護連 携センターの設置 1月～	【基盤固め期】 ・多職種連携の仕組み づくり、関係機関との協 議 ・医療・介護関係者等の 研修 ・市民への普及啓発 ・在宅医療相談と困難事 例に対する調整(委託)	【発展期】 ・急変時、看取り体制づ くりの検討	【充実期】 ・急変時、看取り体制の 整備
〇〇				

政策シート

(政策名) 地域医療・地域包括ケアの推進

(予算費目名) 病院会計支出金

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

- 10年後の目標
- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
 - ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

◇政策の概要

- ・ 当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たす。
- ・ 経常収支比率100%を堅持する安定的な病院運営、医師等の確保、医療設備の充実を図り、身近な地域で適切な医療サービスを継続する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	354,306	451,815
決算	354,306	
人件費(A)		
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	354,306	451,815

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
経常収支比率100%以上を維持	%	100.0	目標	100.0	100.0
			実績	96.4	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

- ・ 当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たす。
- ・ 経常収支比率100%を堅持する安定的な病院運営、医師等の確保、医療設備の充実を図り、身近な地域で適切な医療サービスを継続する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> ・ 当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たした。 ・ 経常収支比率は若干目標を下回ったが、身近な地域で適切な医療サービスを実施した。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	病院事業会計負担金					451,815	451,815					
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						451,815	451,815					

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 病院事業会計負担金

◇事業目的・事業対象

佐久間病院事業の安定化を図り、市民に身近な医療を効率的に提供するため、佐久間病院に対し病院事業会計負担金を支出する。

◇事業の概要

病院事業会計負担金 平成27年度支出額 354,306千円

- 地方公営企業法第17条の2第1項第1号に規定する負担金 41,385千円
 - ・救急告示病院負担金
- 地方公営企業法第17条の2第1項第2号に規定する負担金 312,921千円
 - ・不採算地区病院運営費及びへき地医療の実施要する費用他
 - ・公立病院附属診療所運営費負担金
 - ・医師確保対策に要する経費・退職給与金不足分
 - ・がん対策推進計画関連事業(画像読影委託料等)に必要な費用
 - ・建設改良に必要な費用 (単独工事等)
 - ・看護師確保対策事業に必要な費用(修学資金)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和37年度	-	一般会計	自治事務(その他)	医療法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	354,306	451,815
	決算	354,306	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源		
	一般会計繰入金	354,306	451,815
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)			
人工	正規		
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
経常収支比率100%以上を維持				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	100.0	100.0			100.0
実績値	96.4				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

病院事業会計負担金 平成27年度支出額 354,306千円

- 地方公営企業法第17条の2第1項第1号に規定する負担金 41,385千円
 - ・救急告示病院負担金
- 地方公営企業法第17条の2第1項第2号に規定する負担金 312,921千円
 - ・不採算地区病院運営費及びへき地医療の実施要する費用他
 - ・公立病院附属診療所運営費負担金
 - ・医師確保対策に要する経費・退職給与金不足分
 - ・がん対策推進計画関連事業(画像読影委託料等)に必要な費用
 - ・建設改良に必要な費用(単独工事等)
 - ・看護師確保対策事業に必要な費用(修学資金)

・事業の成果と課題

指標の達成度

病院事業会計への支出金について、地方交付税の算定基準を参考とする算出方法とした。これに基づき、佐久間病院に対する負担金の支出により、地域医療水準を維持するとともに、安全・安心な医療を提供することができた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たす。

・事業の分類

大分類 細分類

平成28年度

(管理番号)

05 02 03 03 01075000 01

(担当課)

佐久間病院

(責任者)

内田 昌往

(作成日)

平成 28 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) 病院事業会計負担金

◇取組概要

へき地医療拠点病院として、北遠地域の医療を確保するとともに、経常収支比率100%を堅持できる安定的な経営を目指す。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

行政経営計画 取組番号 _____

取組事項名 _____

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	経常収支比率100%以上を維持(%)	計画値	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	96.4			
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶

【平成27年度】

指標の計画値に対し、概ね計画通りとなった。佐久間病院に対する負担金の支出により、地域医療水準を維持するとともに、安全・安心な医療を提供することができた。

政策シート

(政策名) 地域医療・地域包括ケアの推進

(予算費目名) 浜松市病院事業会計(佐久間病院)

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

- 10年後の目標
- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
 - ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

◇政策の概要

・当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たす。
 ・経常収支比率100%を堅持する安定的な病院運営、医師等の確保、医療設備の充実を図り、身近な地域で適切な医療サービスを継続する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	1,330,876	1,334,177
決算	1,308,542	
人件費(A)		
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,308,542	1,334,177

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
経常収支比率100%以上を維持	%	100.0	目標	100.0	100
			実績	96.4	
医療機器の整備	台	4	目標	7	9
			実績	7	
看護師修学資金新規貸与者	人	5	目標	5	4
			実績	5	

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

・当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たす。
 ・経常収支比率100%を堅持する安定的な病院運営、医師等の確保、医療設備の充実を図り、身近な地域で適切な医療サービスを継続する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たした。
 ・経常収支比率100%以上を堅持する安定的な病院運営、医師等の確保、医療設備の充実を図り、身近な地域で適切な医療サービスを実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市病院事業(佐久間病院 事業費用)				○	1,277,934	1,277,934					
2	浜松市病院事業(佐久間病院 資本的支出)				○	56,243	56,243					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,334,177	1,334,177					

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市病院事業(佐久間病院事業費用)

◇事業目的・事業対象

佐久間病院と附属診療所を運営し、市民に身近な医療を効率的に提供するとともに、地域住民の保健・福祉事業の中心的な役割を担い、安全安心な医療を提供する。

◇事業の概要

○佐久間病院と2箇所の附属診療所の運営

- ・北遠地域唯一の公立病院として市民に身近で適切な医療サービスを提供する。
- ・救急医療事業や無医地区巡回診療を行う。
- ・運営の基本方針として、健康・医療・福祉を一体的に取り組む地域包括ケアを推進し、健康で安心して暮らせる地域社会の実現に取り組む。
- ・看護師の確保対策に取り組む、病院運営の基盤を整備する。
- ・がん診療連携拠点病院との連携による画像読影、婦人科健診やがん相談支援事業を実施し、がん対策推進計画を推進する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和37年度	-	事業会計	自治事務(その他)	医療法等	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,210,100	1,277,934
	決算	1,188,553	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	837,791	823,086
	一般会計繰入金	350,762	454,848
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)			
人工	正規		
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
経常収支比率100%以上を維持				-	-
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	100.0	100.0			100.0
実績値	96.4				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○佐久間病院と2箇所の附属診療所の運営

- ・北遠地域唯一の公立病院として市民に身近で適切な医療サービスを提供する。
- ・救急医療事業や無医地区巡回診療を行う。
- ・運営の基本方針として、健康・医療・福祉を一体的に取り組む地域包括ケアを推進し、健康で安心して暮らせる地域社会の実現に取り組む。
- ・看護師の確保対策に取り組み、病院運営の基盤を整備する。
- ・がん診療連携拠点病院との連携による画像読影、婦人科健診やがん相談支援事業を実施し、がん対策推進計画を推進する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・北遠地域唯一の公立病院として市民に身近で適切な医療サービスを提供した。
- ・救急医療事業や無医地区巡回診療を行った。
- ・運営の基本方針として、健康・医療・福祉を一体的に取り組む地域包括ケアを推進し、健康で安心して暮らせる地域社会の実現に取り組んだ。
- ・看護師の確保対策に取り組み、病院運営の基盤を整備した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たす。

・事業の分類

大分類 細分類

平成28年度

(管理番号)
05 02 03 04 01075000 01

(担当課)
佐久間病院

(責任者)
内田 昌往

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市病院事業(佐久間病院事業費用)

◇取組概要

へき地医療拠点病院として、北遠地域の医療を確保するとともに、経営収支比率100%を堅持できる安定的な経営を目指す。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

行政経営計画 取組番号 _____

取組事項名 _____

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	経常収支比率100%以上を維持(%)	計画値	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	96.4			
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶

【平成27年度】

指標の計画値に対し、概ね計画通りとなった。今後も北遠地域唯一の公立病院として市民に身近で適切な医療サービスを提供していく。

事業シート (事業名) 浜松市病院事業(佐久間病院資本的支出)

◇事業目的・事業対象

佐久間病院と附属診療所の運営に必要な医療設備の充実を図り、身近な地域で適切な医療サービスを提供する。海外留学資金貸与事業、看護師修学資金貸与事業により整形外科医、看護師の確保に取り組む。

◇事業の概要

①医療機械器具等の整備 30,373千円

- ・ポータブルバランサー
- ・多項目自動血球分析装置
- ・CT撮影装置
- ・電動ベット2台
- ・調剤台
- ・血液ガス分析装置
- ・自動血圧計

②企業債元金償還 81,216千円

- ・病院事業債償還

③看護師確保対策 8,400千円

- ・看護師修学資金貸与等

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和37年度	-	事業会計	自治事務(その他)	医療法等	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	120,776	56,243
	決算	119,989	
	国・県支出		
	市債		
	その他	116,445	47,398
	一般財源		
	一般会計繰入金	3,544	8,845
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)			
人工	正規		
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
医療機器の整備					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	7	9			7
実績値	7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
看護師修学資金新規貸与者					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	5	4			4
実績値	5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
総合戦略施策体系					
重点戦略項目No					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
総合戦略施策体系					
重点戦略項目No					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
05 02 03 04 01075000

(担当課)
佐久間病院

(責任者)
内田 昌往

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①医療機械器具等の整備 30,373千円

- ・ポータブルバランサー
- ・多項目自動血球分析装置
- ・CT撮影装置
- ・電動ベット2台
- ・調剤台
- ・血液ガス分析装置
- ・自動血圧計

②企業債元金償還 81,216千円

- ・病院事業債償還

③看護師確保対策 8,400千円

- ・看護師修学資金貸与等

・事業の成果と課題

指標の達成度

診療に必要な医療機器7台を整備し、身近な地域で適切な医療サービスを提供することができた。また、企業債元金償還金については、償還計画に基づき平成27年度分を執行した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類